

# INACHOO ROTARY WEEKLY NEWS

事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158  
会長：平澤 理 副会長：藤澤健二 幹事：杉本徳治 公共イメージ向上委員長：市川満貞



2022-2023 国際ロータリーのテーマ

## IMAGINE ROTARY

2022-2023 RI会長  
ジェニファー E.  
ジョーンズ  
＜カナダ (オンタリオ州) ＞



### 第1638回例会 令和4年10月22日(土)

#### 地区補助金事業

『未来へつなぐ森林(もり)づくり』 於：鳩吹公園(ぼっ歩館)及び周辺の森林

#### POLIO-DAY

- ・日時：令和4年10月22日(土) 9:30～
- ・場所：鳩吹公園(ぼっ歩館)及び周辺の森林
- ・植樹：コナラ苗木400本
- ・参加者：73名



9:30 鳩吹公園ぼっ歩館にて受付開始・会員集合  
ポリオデー／ポリオ根絶に向けての募金活動  
10:00 植林現場(ますみヶ丘平地林)へ移動  
10:20 ますみヶ丘平地林内にて開会式  
10:40 森林教育(植林をした3年間の木の成長を確認する)植林作業  
11:30 ますみヶ丘平地林内にて閉会式

11:35 連絡事項  
11:40 ぼっ歩館へ移動  
12:00 一般参加の皆様は弁当を持ち帰っていただく  
会員はぼっ歩館及び周辺にて昼食  
12:30 ぼっ歩館内にて例会、引き続き10月の定例理事会

●開会式 司会：原一馬ロータリー財団委員

- 1. 開会の辞 松田靖宏ロータリー財団委員長
- 2. 会長挨拶 平澤理会長

皆さん、おはようございます。

伊那市農林部の皆様・NPO法人森と人を結ぶ協議会の皆様には前々からのご準備を頂き有難うございます。また、アルプスイ〜なちゃんソフトボールクラブの皆さん・伊那西高校インターアクトクラブの皆さん、本日のご参加有難うございます。

森は二酸化炭素削減につながる地球環境保全があります。この機能を増幅させるためには、植林や間伐・下刈りなどの人為的森林整備が必要になります。今後、今日の植林を機会に、森林に興味を持ち森林整備に携わって行かれることを望みます。

- 3. 目録贈呈 平澤会長より伊那市農林部長 柴公人様へ
- 4. ご挨拶 伊那市農林部長 柴公人様
- 5. 植林方法の説明と諸注意 桜守 西村一樹様
- 6. グループ分け



目録贈呈



原一馬  
ロータリー財団委員



松田靖宏  
ロータリー財団委員長



平澤理会長



伊那市農林部長 柴公人様



桜守 西村一樹様

●植林作業



## ●閉会式

### 1. お礼の言葉 平澤理会長

皆さん、大変ご苦勞様でした。

初めて参加の小学生の皆さん、植林楽しかったですか。将来、植えた木がどの位大きくなっているか見に来て下さい。

さて、今回で4回目の植林事業を終えることができました。農林部の皆様・NPO法人森と人を結ぶ協議会の皆様には大変お世話になりました。当クラブは、機会があれば「50年の森ビジョン」に今後も参画させて頂きたいと思っております。本日はご苦勞様でした。

### 2. 閉会の辞 松田靖宏ロータリー財団委員長



## ■ 点 鐘 12:00



## ■ ソング 伊那中央ロータリー讃歌 太田明良ソングリーダー



## ■ 会長談話 平澤理会長



本日はロータリー財団補助金「未来へつなぐ森林づくり」に大勢の皆様に参加していただきました。植林を通して環境保全と森林整備への理解を深めようと始まった補助金事業も今回で4回目を数えます。これまでに250名近くの参加者があり、1400本の樹が植栽されて来ました。今後も、機会あらば、里山の保全に力を尽くしたいと思つた次第です。

また、本日はポリオデーということで、池田次期ガバナー補佐より卓話がございます。ポリオは、ロータリーの原点ですので、認識を新たにして頂ければと思います。最後に会員の皆様からの募金をお願いして挨拶とします。

## ■ 幹事報告 杉本徳治幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。



## ■ 委員会報告

### ・10月30日(日)伊那市カレー大作戦の案内 宮下健奉仕プロジェクト委員長

海老屋料理さんにて、午後3時集合で4時より一斉配食の予定です。作業内容は、案内(人員整理)・盛付・配食・会計等と成ります。

昨今、メディア等でも取上げて頂けていますので、公共イメージアップにも繋げていければと思います。



## ■ ニコニコボックス

- ◆平澤理 本日はご苦勞様でした。大勢の方にご参加いただき盛会裡のうちに終えれた事、感謝致します。有難うございました。
- ◆杉本徳治 未来へつなぐ森林（もり）づくりの植林作業、お疲れ様でした。また、ポリオ根絶に向けての募金ありがとうございました。  
池田次期ガバナー補佐、卓話をよろしくお願い致します!!
- ◆田中真人 本日は補助金事業の植林作業、お疲れ様でした。この後の例会、理事会と長丁場となりますが引き続きよろしくお願い致します。
- ◆松田靖宏 皆様のお蔭でロータリー財団地区補助金事業を無事に終えることが出来、ありがとうございました。  
併せて、世界ポリオデーへの募金をしていただき感謝申し上げます。
- ◆池田幸平 本日はポリオの卓話をさせていただきます。私ごときが良いのかと思いますが、会長の命令です。あしからず。
- ◆井上修 インターアクト生、お世話になりました。弟を連れて来た生徒がいて嬉しく思いました。これから留学生交流会、伊勢研修と続きます。宜しくお願い致します。
- ◆加藤篤 本日の「未来へつなぐ森林（もり）づくり」「ポリオデー」では、皆様の安心安全の一助として傷害保険をかけて頂きました。今年も何事もなく良かったです。
- ◆肥沼光彦 伊那市のパワーアシストスーツを利用した健康増進事業を受託し、木曜日に少しサラシ者になりました。最近ゴシタイと感じられる方、ご関心がありましたら実証事業に参加下さい。来週回覧板が回ります。
- ◆小椋文成 本日は、アルプスイ〜なちゃんソフトボールクラブの皆様、大勢の参加ありがとうございます。イーナJr.ソフトボールクラブは岡谷の大会参加のため行けませんが、よろしくお願い致します。



## ■ 出席報告

会員数47名 出席免除会員5名 長欠会員1名 本日出席者24名  
事前メイク3名 出席率65.85% 前回出席率 修正なし



## ■ 卓話

### 「ポリオについて」 池田幸平次期ガバナー補佐



ポリオ根絶までもう少しの所まで来ています。パキスタンとアフガニスタンでの発生を抑えれば根絶できます。日本では昭和35年に5,000人を超えましたが昭和55年の1例を最後に出していません。これも毎年のワクチン接種が行き届いているおかげです。私が小学生のころ罹患した同級生がいました。日本の投与費用は毎年約100億円です。

世界では自国で投与できずワクチンが行き届いていないため昭和60年（1985年）にロータリーがポリオ撲滅活動を独自で立ち上げました。その後WHOやユニセフ等が加わり、ビルゲイツの財団が毎年のロータリー寄付の倍額を提供してくれています。そしてここまで来ましたので撲滅できれば、これはロータリーの偉業です。2026年为目标です。ポリオ根絶に是非ご協力をお願いします！ 別添資料をご覧ください。

## ポリオはどのような病気か

END  
POLIO  
NOW



- ・急性灰白髄炎（きゅうせいかいはくずいえん）  
／小児麻痺と言われ、ウイルス感染により発症する
- ・糞口感染が主な感染経路
- ・不顕性感染の割合が高い（症状が出ない）
- ・ウイルスが神経組織に入ってマヒを引き起こし、死に至ることもある  
(感染して、身体マヒを引き起こす割合は、200人に1人程度)
- ・5歳以下の子どもの感染確率が高く、「小児マヒ」とも呼ばれている
- ・治療はできない
- ・ワクチンでの予防が可能

## ポリオプラス・プログラムとは

END  
POLIO  
NOW

1985年 国連の40周年（国際ロータリー創立80周年）に国際ロータリーは1億2000万ドル（120億円）を集める声明を出し、ポリオ根絶活動「ポリオプラス・プログラム」を創設しました。

1988年 世界保健機関（WHO）、国連児童基金（UNICEF）、米国疾病対策センター（CDC）が共同で世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）を開始しました。

・ポリオと共に、ハシカ（麻疹）、ジフテリア、結核、百日咳、破傷風の5つをプラスして、同時に撲滅することを目的にしました。

・その後、ポリオの根絶を遂行するのに必要な、機材・機関などをプラスと呼び、現在では世界的なポリオ根絶活動がもたらした遺産（コールドチェーンなど）や多くの研究結果による功績のことを指します。

1995年 ポリオプラスの目標を2000年までにポリオを一掃し、ロータリー100周年にあたる2005年までにポリオ撲滅を宣言することを決めました。  
残念ながら、これは2026年までという目標に変更されました。

2009年 ビル&メリンダ・ゲイツ財団がロータリー財団ポリオ寄付額の2倍の寄付提供合意。

2019年 Gaviアライアンスが活動に加わりました。

## ポリオの根絶の要点

END  
POLIO  
NOW

- ・ポリオ（急性灰白髄炎）は、主に5歳未満の小児が罹かる疾患です。
- ・感染者200人のうち1人に不可逆性の麻痺が起こります。麻痺を起こした患者の5～10%は呼吸筋が機能しなくなり、死に至ります。
- ・1988年には35万人いたと推計されるポリオの患者（野生株由来）は99%以上減少し、2022年には報告者数が27人になりました。世界がこの疾患を根絶することに取り組んだ結果、1,600万以上の人々が麻痺から救われました。
- ・1人でも感染した小児がいれば、すべての国の小児にポリオへの感染の危険が生まれま  
す。最後に残った常在国からポリオを根絶することができなければ、10年以内に毎年  
20万人もの新規患者が発生する可能性が生まれます。
- ・殆どの国が効果的なサーベイランスや予防接種体制を確立してきたことで、地球全体  
での取り組みが他の感染症に取り組む対処能力も向上させています。

Q : 世界での発症者は数えるほどしかいないのに  
何故まだ資金が要るの？

END  
POLIO  
NOW

A : ワクチン接種は発症国のみに必要であり、発症が見られなくなれば不要で  
あり、感染・発症者の減少に伴い資金が少なくてよいと勘違いしているから。  
ワクチン接種は毎年の新生児にすべての国で必要だとの理解が必要です。

- ポリオの感染拡大防止にはどの国も新生児へのワクチン接種が必要です。
- 日本でも毎年、政府が多額の費用をポリオワクチン接種に使っています。
- 日本など先進国では国の資金と整った制度、医療機関により接種が行われて  
いますが多くの開発途上国ではワクチンの資金、予防制度、医療機関そして  
接種を行う人材（医師、看護師等）が整っていません。皆さんのポリオ向け資  
金はこれらの国々へのワクチン購入およびワクチンを届ける輸送手段（コールド  
チェーン）、そして接種する人材への支援に充てられます。

## ポリオの現状について

- 2022年9月27日現在の状況（WHO）
  - 野生株ポリオウイルス（WPV）感染者
    - パキスタン 19名
    - アフガニスタン 2名
    - モザンビーク 6名
- 過去12ヶ月の発症状況（世界）
  - 合計27名
  - 合計31名
- 先進国での発症状況
  - 2022年6月 米国ニューヨーク州ロックランド郡の下水サンプルからポリオウイルス検出
  - 2022年7月 同地域にてワクチン由来ポリオウイルス感染者1名を確認
  - 2022年9月 ニューヨーク州にてポリオ非常事態宣言、ワクチン接種強化（救命隊員、薬剤師、助産師も接種投与が可能とした）
  - 2022年6月 英国ロンドン東部の下水道処理施設からポリオウイルス検出
    - ・ 市中感染の疑いがあり、ロンドン市内1～9歳全市民に緊急ワクチン接種（ブースター接種）を進めている
- 日本国内でも下水処理施設にてポリオウイルス検査を実施している。（定点検査）

皆様の助けを借りて、  
私たちはポリオを  
永久に終わらせることが  
できます。

10月24日は世界ポリオデー



■ 点 鐘 12:30

次回例会  
 11月1日(土) 点鐘/12:30 場所/海老屋料理店  
 ・上沢広光ガバナー公式訪問例会